

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **08328473 A**

(43) Date of publication of application: **13 . 12 . 96**

(51) Int. Cl

G09F 1/02
G09F 3/10
// G11B 23/38

(21) Application number: **07156806**

(71) Applicant: **SONY CORP**

(22) Date of filing: **31 . 05 . 95**

(72) Inventor: **SEKI SEIZO**

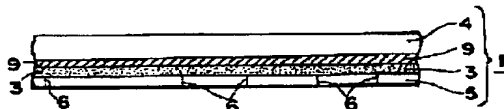
(54) **INDEX CARD WITH LABEL**

COPYRIGHT: (C)1996,JPO

(57) Abstract:

PURPOSE: To make it possible to simultaneously print and simultaneously work rules for statement and display columns, such as recording content indices and titles by providing one surface with an index card arranged formed with an index surface on its one surface via a tacky adhesive layer coated with a tacky adhesive and the other surface with a label formed by using the index card as backing paper and subjecting the paper to a release treatment.

CONSTITUTION: The tacky adhesive layer 3 is disposed between the index card 4 and the label 5. The tacky adhesive layer 3 is coated with the tacky adhesive and is so formed that the adhesion by slightly pressurizing the layer without the aid of a solvent, heat or catalyst is made possible at the time of adhering the label 5. The surface on the side of the tacky adhesive layer 3 to be affixed with the label 5 is provided with the layer subjected to the release treatment, such as silicone treatment or polymer lamination treatment so that the label 5 is made easily peelable. The so-called, cardboard paper having a basis weight of about 170 to 210g/m² is used for the index card 4.



(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平8-328473

(43)公開日 平成8年(1996)12月13日

(51)Int.Cl. ⁹	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 9 F 1/02			G 0 9 F 1/02	D
			3/10	B
// G 1 1 B 23/38			G 1 1 B 23/38	A

審査請求 未請求 請求項の数3 F D (全 7 頁)

(21)出願番号 特願平7-156806

(22)出願日 平成7年(1995)5月31日

(71)出願人 000002185

ソニー株式会社

東京都品川区北品川6丁目7番35号

(72)発明者 関 誠三

東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニー株式会社内

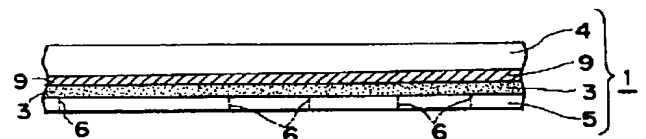
(74)代理人 弁理士 小池 晃 (外2名)

(54)【発明の名称】 ラベル付きインデックスカード

(57)【要約】

【目的】 記録内容の索引やタイトル等の記載のための罫線や表示線を同時に印刷したり、同時に加工することができ、製造の簡素化が図られとともに、ラベルの管理が行い易いラベル付きインデックスカードを提供することを目的とする。

【構成】 一方の面に印刷が施されたインデックスカード4の前記印刷面とは反対側の面に離型処理が施されるとき、粘着剤が塗布された粘着剤層3が形成されたラベル5が前記インデックスカード4の離型処理された面上に貼り付けられ、一体化されていることを特徴とする。



インデックスカードの断面図

【特許請求の範囲】

【請求項1】 一方の面に印刷が施されたインデックスカードの前記印刷面とは反対側の面に離型処理が施されるとともに、粘着剤が塗布された粘着剤層が形成されたラベルが前記インデックスカードの離型処理された面上に貼り付けられ、一体化されていることを特徴とするラベル付きインデックスカード。

【請求項2】 インデックスカードが坪量170～210g/m²のカード紙からなることを特徴とする請求項1記載のラベル付きインデックスカード。

【請求項3】 ラベルが坪量60～100g/m²のカード紙からなることを特徴とする請求項1記載のラベル付きインデックスカード。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、例えば、テープカセットやディスクカートリッジに収納される記録媒体の記録内容等を表示するために使用されるラベル付きインデックスカードに関する。

【0002】

【従来の技術】従来、データ信号や映像信号等の情報信号を記録する記録媒体を収納した記録媒体収納装置として、テープレコーダ、ビデオテープレコーダ等の記録及び／又は再生装置に装填されて用いられるテープカセットや、光磁気ディスクや光ディスクの如き記録媒体を記録及び／又は再生装置に装填されて用いられるディスクカートリッジが広く知られている。

【0003】そして、例えば、上記テープカセット等が店頭等で販売される場合には、透明なプラスチック等からなるカセット収納ケースに収納されて販売される。このカセット収納ケース105は、図9に示すように、上記テープカセット111の収納と同時にこのテープカセット111の記録内容の索引（例えば、曲目）や磁気テープの長さ、種類等の使用を表示するためのインデックスカード101と、他のテープカセット111との識別をするためのタイトルや記録した日時等を記入するためのラベル102とが別々に収納されている。

【0004】上記インデックスカード101は、中央部分より断面コ字状に屈曲されて使用され、その表裏面は、上記記録内容の索引等を記入するための野線や表示欄等が印刷されている。他方、上記ラベル102は、台紙に剥離可能に設けられ、その一方の表面は、上記タイトル等を記入するための野線や表示欄等が印刷されている。

【0005】したがって、ユーザー等は、データ信号や映像信号等の情報信号を記録したときは、上記カセット収納ケース105に収納されたインデックスカード101に、その記録内容の順序に従って上記野線に合わせて記入し、これを索引として使用することができる。他

方、ユーザー等は、ラベル102にタイトル等を上記野線等に合わせて記入し、これを他のテープカセット111との識別のために使用する。なお、上記のようなテープカセット111では、ラベル102は、通常、書換が可能ないように数種類のものが台紙に剥離可能に貼着されている。

【0006】そして、上記索引等が記入されたインデックスカード101は、外部から視認できるように、上記索引を外側にして、カセット収納ケース105の蓋体に設けられる断面L字状のポケット部106に収納される。他方、上記タイトル等が記入されたラベル102は台紙から剥離されて、カセット収納ケース105の外周表面や、上記インデックスカード101の上記断面L字状の側部101aに貼着される。

【0007】ユーザー等は、上記のような記録によって、データ信号や映像信号等の情報信号が記録されたテープカセット111が保管された多くのテープカセット111の中から所望のテープカセット111を選び出すことができる。また、このテープカセット111の中の所望の記録されたデータ信号や映像信号等の情報信号を再生するためには、記録内容の索引が記載されたインデックスカードを見て検索することができる。

【0008】

【発明が解決しようとする課題】従来のインデックスカード101は、上記従来のカセット収納ケース105に収納されるインデックスカード101のように、上記ラベル102とは別々に構成されて、カセット収納ケース105にテープカセット111とともに収納されていた。

【0009】しかしながら、上記従来の構成では、製造工程において、上記インデックスカード101とラベル102の加工を別々に行わなければならない、又、上記野線や表示欄等の印刷も別々に行わなければならない。また、これらインデックスカード101とラベル102とは、上記カセット収納ケース105にテープカセット111とともに収納されるが、製造工程でこれらをカセット収納ケース105に収納するためには、このカセット収納ケース105に収納させる自動供給装置を少なくとも2ヶ所以上に設けなければならない。

【0010】さらに、実際の使用においては、インデックスカード101がラベル102と別々に構成されていることから、特に、ラベル102を紛失してしまった場合には、別のテープカセット111のものを使用しなければならない、管理状の問題を有していた。また、ラベル102を使い切った台紙は、廃棄物として捨て去るものであった。

【0011】そこで、本発明は、記録内容の索引やタイトル等の記載のための野線や表示欄を同時に印刷したり、同時に加工することができ、製造の簡素化が図られとともに、ラベルの管理が行い易いインデックスカード

を提供することを目的とする。

【0012】

【課題を解決するための手段】本発明は、上述の目的を達成するため、一方の面に印刷が施されたインデックスカードの前記印刷面とは反対側の面に離型処理が施されるとともに、粘着剤が塗布された粘着剤層が形成されたラベルが前記インデックスカードの離型処理された面上に貼り付けられ、一体化されていることを特徴とする。

【0013】また、インデックスカードが坪量170～210g/m²のカード紙からなることを特徴とする。
また、ラベルが坪量60～100g/m²のカード紙からなることを特徴とする。

【0014】

【作用】本発明によれば、少なくとも粘着剤が塗布された粘着剤層を介して一方の面にインデックスカードを、他方の面にラベルが一体に設けた構成により、記録内容の索引やタイトル等の記載のための野線や表示欄を同時に印刷したり、同時に加工することができる。

【0015】また、ラベルを1枚使ったとしても、他のラベルはインデックスカードと一体とされているので、ラベルを紛失してしまう事態を有効に防止することができ、上記ラベルを使い切った後は、インデックスカードとして使用できるため、台紙が廃棄物となるようなことがない。

【0016】

【実施例】以下、本発明を適用した実施例について図面に基づいて具体的に説明する。

第1の実施例

本実施例のラベル付きインデックスカードは、テープ幅を8mmとなす磁気テープを収納したテープカセット11が収納されるカセット収納ケース2に、このテープカセット11と同時に収納されるラベル付きインデックスカード1である。

【0017】まず、上記テープカセット11は、図1に示すように、透明なプラスチック等からなる一対の上下ハーフ12、13を突き合わせ結合してケース本体14内に上記磁気テープを8mmとなす磁気テープが収納されている。このケース本体14内には、一対のテープリールが回転自在に取り付けられ、これら一対のテープリール間に情報信号が記録される上記磁気テープが巻き回されている。

【0018】次に、カセット収納ケース2は、透明な樹脂からなる筐体21と蓋体22とからなる。この蓋体22は、断面L字状を呈するポケット部26を有し、その両側面部に形成されて支持部25によって、上記筐体21に対して回動可能に取り付けられている。

【0019】そして、上記カセット収納ケース2に対して、上記ラベル付きインデックスカード1が収納される。このラベル付きインデックスカード1は、長形状を呈して、その一端部側が断面コ字状に屈曲されて、上

記断面L字状のポケット部26の形状に合わせて、上記カセット収納ケース2に収納されるようになされている。

【0020】そして、上記ラベル付きインデックスカード1は、図2及び図3に示すように、インデックスカード4にラベル5が一体に設けられている。すなわち、このラベル付きインデックスカード1は、中間層となる粘着剤層3を介して、一方の面が厚紙のインデックスカード4で構成され、他方の面がいわゆる上質紙で構成されている。

【0021】まず、上記インデックスカード4とラベル5との間には、図2に示すように、粘着剤層3が設けられている。この粘着剤層3は、粘着剤が塗布された粘着剤層3が塗布されており、上記ラベル5の接着に際し、溶剤、熱、又は、触媒の助けを必要とせず、僅かに加圧することによって接着できるようになされている。また、この粘着剤層3の上記ラベル5が貼着される側の面は、いわゆるシリコン処理、又は、ポリマーラミネート処理等の離型処理が施された層9が設けられて、上記ラベル5が剥離され易いようになされている。

【0022】次に、上記インデックスカード4は、坪量170～210g/m²程度のいわゆるカード紙が使用されている。これは、この厚紙の一方の面が上記テープカセット11の記録内容の索引や磁気テープの長さ、種類等の仕様が記入されるインデックス面とされるためである。また、この厚紙によって、カセット収納ケース2に不測の外力が加わってもテープカセット11等を保護し得るようになるためである。

【0023】特に、このスリーブケース401においては、このスリーブケース401に収納された収納物の外方への取り出しを容易となすため、上記スリット状開口部404に連続して、各主面部の前端側部分に、指入れ用の切り欠き部402、403が設けられている。

【0024】他方、上記インデックスカード4が、これよりも薄いと、テープカセット11の保護の役割が果たせず、他方、厚すぎると、見栄えが悪くなるからである。特に、本実施例は、離型処理が施されたラベル5が一体に設けられた構成のために、厚すぎないようにするためにも、上記設定が好ましい。

【0025】また、上記インデックスカード4は、その他方の面に、上記記録内容の索引等を記入するための野線7や表示欄等が印刷されている。さらに、上記インデックスカード4側には、上記一端部側を上記断面コ字状に屈曲させるための折り目6が形成されている。

【0026】なお、上記粘着剤層3のインデックスカード4側には、上記シリコン処理、又は、ポリマーラミネート処理等の離型処理が施された層9は設けられていない。一方、上記粘着剤層3の他方の面に、ラベル5が剥離可能に設けられている。このラベル5は、他のテープカセット111との識別をするためのタイトルや記録し

10

20

30

40

50

た日時等を記入するためのもので、「半抜き加工」によって形成される。

【0027】このラベル5は、坪量 $\sim 100\text{ g/m}^2$ のいわゆる上質紙が使用されている。これは、筆記具による書き味を考慮するとともに、上記インデックスカード4と同じく、厚すぎないようにするためである。また、このラベル5は、ミシン目8が施されることによって、所定の大きさのものが剥離可能に形成されている。本実施例では、図4(a)に示すように、カセット収納ケース2の一側面部に貼着させるための幅の狭いものが3つと、カセット収納ケース2の蓋体22と略々同じ大きさのものが1つ、上記ミシン目8によって剥離可能に形成されている。

【0028】したがって、上記各ラベル5は、厚紙であるラベル付きインデックスカード1から剥離して、その貼着場所に合わせて使用され得るようになされている。なお、上記ミシン目8は、ラベル5のいわゆる「半抜き加工」と同時に行うと良い。このように構成されたラベル付きインデックスカード1は、その一端部側に形成される折り目6に沿ってコ字状に屈曲され、図4(a)

(b)に示すように、断面コ字状させて、上記カセット収納ケース2の断面L字状のポケット部26に合わせて収納させることにより、テープカセット11を保護しながら、図1中矢印に示す方向に、上記テープカセット11とともにカセット収納ケース2に収納される。

【0029】すなわち、ユーザー等は、データ信号や映像信号等の情報信号を記録したときは、上記カセット収納ケース2に収納されたラベル付きインデックスカード1のインデックス面にその記録内容の順序に従って索引等を上記野線7に合わせて記入する。他方、ラベル5は、他のテープカセット11との識別を行うためにタイトル等を上記野線7等に合わせて記入する。

【0030】そして、上記索引等が記入されたラベル付きインデックスカード1は、インデックス面が外部から視認できるように、カセット収納ケース2に収納される。すなわち、このラベル付きインデックスカード1は、断面コ字状に折曲された状態で、上記カセット収納ケース2の蓋体22に設けられる断面L字状のポケット部26に収納される。他方、上記タイトル等が記入されたラベル5は台紙となるインデックスカード4から剥離されて、カセット収納ケース2の外周表面や、上記ラベル付きインデックスカード1の上記断面コ字状の一側部1cに貼着される。

【0031】したがって、ユーザー等は、上記のような記録によって、データ信号や映像信号等の情報信号を記録されたテープカセット11が多くなっても、この保管された多くのテープカセット11の中から所望のテープカセット11を選び出すことができる。

【0032】また、このテープカセット11の中の所望の記録されたデータ信号や映像信号等の情報信号を再生

するためには、記録内容索引(例えば、曲目)が記載されたラベル付きインデックスカードを見て検索することができる。ところで、従来のインデックスカード101は、図9に示すように、上記ラベル102とは別々に構成されていたために、インデックスカード101とラベル102の加工も、上記野線等の印刷も別々に行わなければならない。また、これらインデックスカード101とラベル102とをカセット収納ケース105に収納するためには、自動供給装置を2ヶ所以上に設けなければならない。また、実際の使用において、ラベル102が紛失してしまうおそれがあった。さらに、ラベル102を台紙から剥離すると、その使い切った台紙は、廃棄物として捨て去るものであった。

【0033】これに対し、本実施例に係るラベル付きインデックスカード1は、粘着剤が塗布された粘着剤層3を介して離型処理が施されたラベル5が一体に設けた構成により、記録内容の索引やタイトル等の記載のための野線7や表示欄を同時に印刷したり、同時に加工することができる。

【0034】すなわち、1枚のラベル付きインデックスカードで、インデックスカードとラベル5との2つの機能を有するために、使用する紙の節減となり、ひいては、地球環境保護にも役立つ。また、テープカセット11の製品化工程においては、カセット収納ケース2に収納させる自動供給装置が一台で済むこととなる。

【0035】さらに、実際の使用においては、従来のように台紙を捨て去るものではなく、ラベル5を1枚使ったとしても、他のラベル5はインデックスカード1と一体とされているので、ラベル5が紛失してしまう事態を有効に防止することもでき、その管理も容易である。そして、使い切った後でも、インデックスカード1として使用できるので、地球環境保護に優しいラベル付きインデックスカードとなる。

第2の実施例

本実施例は、円盤状記録媒体を回転自在に収納してなるディスクカートリッジのラベル付きインデックスカードに本発明を適用したものである。

【0036】まず、上記ディスクカートリッジは、いわゆるスリーブケース41に収納される。このスリーブケース41は、図7及び図8に示すように、ポリプロピレン(PP)やポリエチレンテレフタレート(PET)等の合成樹脂材料よりなるシート材料が屈曲形成されて筐体状となされ、前方側にスリット状開口部を有する袋状の構造を有して構成されている。すなわち、上記ディスクカートリッジは、このスリーブケース41の前方側のスリット状開口部を介して、このスリーブケース41内に挿入されて収納される。

【0037】このスリーブケース41においては、このスリーブケース41に収納された収納物の外方への取り出しを容易となすため、上記スリット状開口部に連続し

10

20

30

40

50

て、各主面部の前端側部分に、指入れ用の切り欠き部が設けられている。そして、上記スリーブケース41は、ディスクカートリッジを収納して販売等される状態にあっては、ラベル付きインデックスカードとともに、合成樹脂等からなるフィルム部材、いわゆるオーバーラップフィルムにより包装される。

【0038】上記ラベル付きインデックスカード31は、図5乃至図6に示すように、離型処理が施されたラベル35が一体に設けられている。すなわち、このラベル付きインデックスカード31は、第1の実施例と同様に、図2に示すように、中間層となる粘着剤層3を介して、一方の面が、厚紙のインデックスカード34で構成され、他方の面が、いわゆる上質紙で構成されたラベル35が形成されている。また、この粘着剤層3の上記ラベル35が貼着される側の面は、いわゆるシリコン処理、又は、ポリマーラミネート処理等の離型処理が施された層9が設けられて、上記ラベル5が剥離され易いようになされている。

【0039】上記インデックスカード34は、坪量170～210g/m²程度のいわゆるカード材質が使用されている。上記ラベル付きインデックスカード31は、中央部分よりコ字状に屈曲されて、後述するスリーブケース41の天板部及び底板部を覆うようにしてこのスリーブケース41に被せられるが、このコ字状の中央の側面部31cには、図6に示すように、上記記録内容の索引（例えば、曲目）の他、販売会社名やディスクカートリッジの取扱い上の注意事項等が記載されている。なお、上記インデックスカード34は、その一端部側を略々L字状に折り曲げるための折り目36が形成されている。

【0040】そして特に、中間層となる粘着剤層の他方の面には、図5に示すように、ラベル35が剥離可能に設けられている。このラベル35は、他のディスクカートリッジとの識別をするためのタイトルや記録した日時等を記入するためのものである。このラベル35は、ミシン目38が施されることによって、所定の大きさに剥離可能に形成されている。

【0041】すなわち、本実施例では、スリーブケース41の一側面部等に貼着させるための幅狭のものが2つ上記折り目36の近傍に形成されている。また、上記スリーブケース41の片面と略々同じ大きさのものが1つ上記折り目36を介した片側面に形成されている。さらに、これらの中間ほどの大きさのものが2つ上記折り目36を介した他の片側面に形成されている。したがって、上記各ラベル35は、厚紙であるインデックスカード34から剥離され、その貼着場所に合わせて使用され得るようになされている。

【0042】さらに、上記厚紙のインデックスカード31とラベル35との間には、第1の実施例と同様、少なくとも粘着剤が塗布された粘着剤層が塗布されている。

上記ラベル付きインデックスカード31は、上記ディスクカートリッジの記録内容の索引（例えば、曲目）や磁気テープの長さ、種類等の仕様や、タイトル、記録した日時等が記入されたものである。

【0043】そして、このラベル付きインデックスカード31は、図8に示すように、これらの曲目等が購買者の視覚に訴えるように、中央部分より断面コ字状に屈曲さられて使用され、その外周表面に上記曲目等が位置するようになされて、オーバーラップフィルムにより包装される。この包装は、いわゆるキャラメルラップであって、まず、対向する縁部同士を接合させて筒状となしたオーバーラップフィルム42内に上記スリーブケース41を挿入し、次に、筒状となされたオーバーラップフィルム42の両端部近傍をそれぞれ内方側に折り曲げて、重複部を形成させ、この重複部を熱融着により接合させることにより、完了する。この熱融着は、加熱した金属板等からなる加熱アイロン部材を上記重複部上に当接させることにより行われる。上記オーバーラップフィルム42は、この後、加熱されることにより収縮し、上記スリーブケース41の外面部に密着包装させられる。

【0044】ところで、上記スリーブケース41においては、このスリーブケース41に収納された収納物の外方への取り出しを容易となすため、上記スリット状開口部に連続して、各主面部の前端側部分に、指入れ用の切り欠き部が設けられ、図7に示すように、上記ディスクカートリッジを収納した状態において、外側面部に凹凸を生じている。したがって、従来、落下等によって不測の外力がこの凹凸に加わると、断面コ字形状のラベル付きインデックスカード31がオーバーラップフィルムとともに容易に変形して、見栄えが悪くなることは勿論、上記オーバーラップフィルムが破れて、上記ディスクカートリッジの商品価値が失われてしまうことともなっていた。

【0045】しかし、本実施例においては、上記構成により、製造工程等において、ラベル付きインデックスカード31に不測の外力が加わっても容易に変形するようなことがない。その結果、オーバーラップフィルムとともに良好な密着包装が行われる。

【0046】以上、本実施例においては、粘着剤層3とシリコン処理等の離型処理が施された層9を介して上記インデックスカード4、34とラベル5、35とを構成したが、本発明は、必ずしも上記実施例のものに限らず、更に層を形成したものであっても良いことは勿論である。また、上記ミシン目6、36によって区切られるラベル5、35の大きさや数は、実施に応じて任意に設定されるものである。さらに、本実施例は、テープカセット11とディスクカートリッジ31に使用されるもので説明したが、これら以外のものにも広く適用されるものである。

【発明の効果】本発明に係るラベル付きインデックスカードは、少なくとも粘着剤が塗布された粘着剤層を介して、一方の面に片面をインデックス面とするインデックスカードと、他方の面にこのインデックスカードを台紙として離型処理が施されたラベルとを設けた構成により、記録内容の索引やタイトル等の記載のための罫線や表示欄を同時に印刷したり、同時に加工することができる。

【0048】また、実際の使用においては、従来のように台紙を捨て去るものではなく、ラベルを1枚使ったとしても、他のラベルはラベル付きインデックスカードと一体とされているので、ラベルを紛失してしまう事態を有効に防止することができ、その管理も容易である。そして、上記ラベルを使い切った後でも、インデックスカードとして使用できるため、台紙が廃棄物とはならず自然環境保護に優しいインデックスカードを提供することができる等種々の効果を有する。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係る第1のラベル付きインデックスカードをテープカセットとともにカセット収納ケースに収納する状態を示す斜視図である。

【図2】上記ラベル付きインデックスカードを示す断面図である。

【図3】上記ラベル付きインデックスカードのラベルの剥離状態を示す斜視図である。

【図4】上記ラベル付きインデックスカードを示す斜視図であり、(a)はラベルが貼着される側から見た図であり、(b)は記録内容の索引が記入される側から見た*

*図である。

【図5】第2の実施例のラベル付きインデックスカードを示す平面図である。

【図6】図5の背面図である。

【図7】ディスクカートリッジを収納するスリーブケースにラベル付きインデックスカードを被せる状態を示す斜視図である。

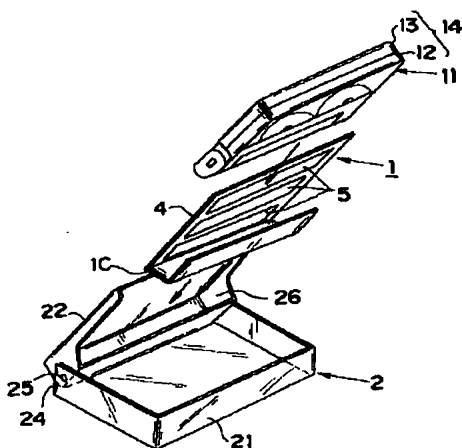
【図8】ディスクカートリッジを収納するスリーブケースにオーバーラップフィルムとともにラベル付きインデックスカードを被せた状態を示す斜視図である。

【図9】上記従来のインデックスカードを、ラベルとテープカセットとともにカセット収納ケースに収納する状態を示す斜視図である。

【符号の説明】

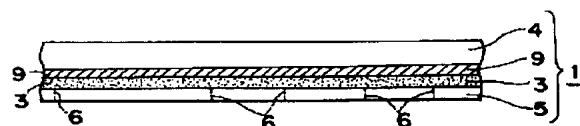
- 1, 31 ラベル付きインデックスカード
- 1c, 31c ラベル付きインデックスカードのコ字状の中央の側面部
- 2 カセット収納ケース
- 21 カセット収納ケースの筐体
- 22 カセット収納ケースの蓋体
- 26 カセット収納ケースのポケット部
- 3 粘着剤層
- 4 インデックスカード
- 5 ラベル
- 6 折り目
- 8 ミシン目
- 9 離型処理が施された層
- 11 テープカセット

【図1】



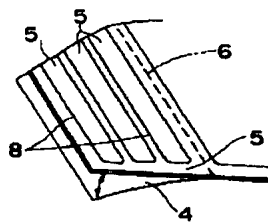
本実施例のインデックスカードを収納する状態を示す斜視図

【図2】



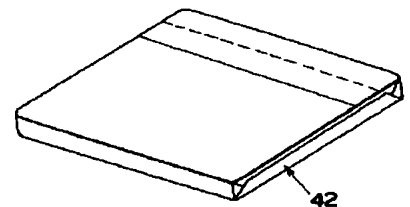
インデックスカードの断面図

【図3】

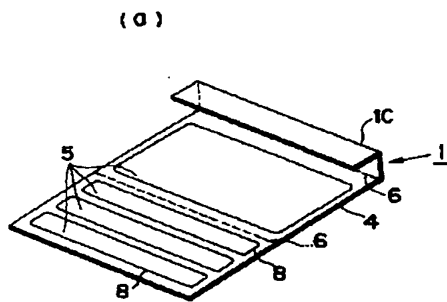


ラベルの剥離状態を示す斜視図

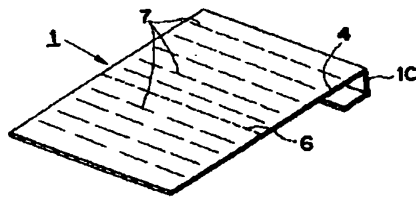
【図8】



【図4】

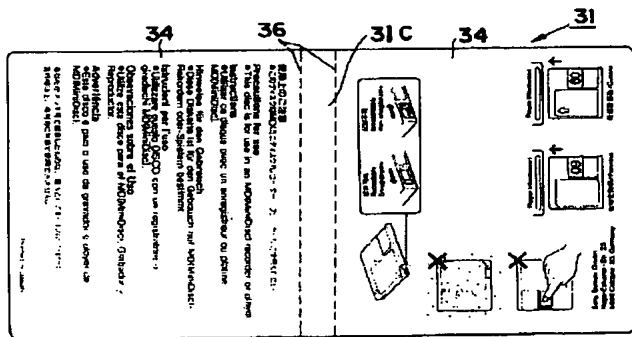


(b)



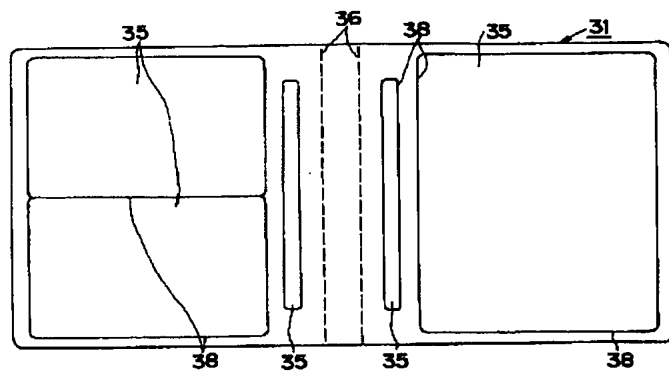
本実施例のインデックスカードを示す斜視図

【図6】



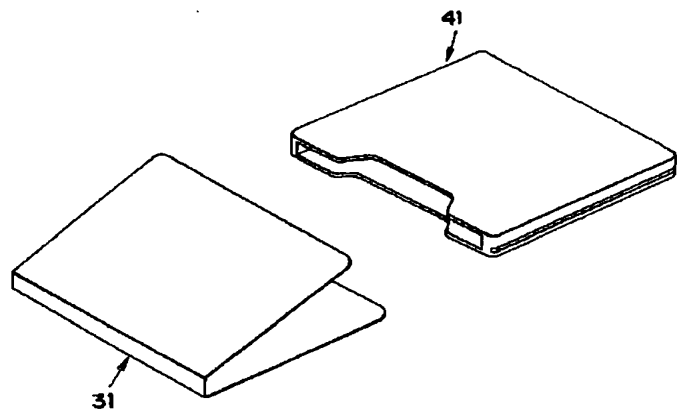
インデックスカードの他の例を示す背面図

【図5】



インデックスカードの他の例を示す平面図

【図7】



【図9】

